

資料編

Appendix

能登川水車一覧	186
能登川町史年表	187
連歌師・宗祇法師資料	188
方言	189
道路の状況	192
信号機設置状況	192
能登川町管内一級河川一覧	192
能登川町総合文化情報センターの概要	193
総合文化情報センター配置図	194
きぬがさ山トンネル	196
能登川駅時刻表	198
小学校の移り変わり	200
寺院・神社・教会一覧	201
能登川町遺跡分布図	202
能登川町文化協会加入サークル一覧	204
小・中学校時間割表	205
諸物価一覧	206

能登川水車一覽

【敬称略】平成 4 年 2 月調査現在

	利用河川	所在番地	水車開設者	開設年度	撤去年度	備考
1	大同川	長勝寺 197 番地	清水六兵衛	明治 25 年	昭和 15 年	
2	大同川	神郷 35 番地の 1 (森)	清水興三郎	明治 44 年	昭和 3 年	清水啓次郎
3	大同川	神郷 978 番地 (斗)	福本惣助	明治 44 年	昭和 18 年	福本総治朗
4	大同川	種 934 番地	大橋彦助	天保 10 年	明治 15 年	(屋号車屋) 大橋彦祐 吉田武次
5	大同川	種 1646 番地	大西市太郎	明治 20 年	昭和 18 年	辻 三郎
6	大同川	種 711 番地	辻政次郎	明治 25 年	昭和 17 年	上林千太郎
7	大同川支流 五位田川	今 221 番地	上林卯之介	明治 40 年	昭和 7 年	
8	大同川支流 五位田川	今 258 番地	奥野庄吉	明治 15 年	昭和 30 年	奥野惣吉
9	大同川支流 五位田川	今大將軍 943 番地の 1	同心組合	昭和 8 年	昭和 25 年	上林恒夫
10	躰光寺川	佐野 586 番地	石井増次郎	明治 28 年	昭和 19 年	石井 豊
11	躰光寺川	垣見 686 番地	桂田久治	明治 37 年	昭和 16 年	桂田久治郎
12	躰光寺川	垣見 655 番地	川嶋正太郎	明治 25 年	昭和 30 年	川嶋きぬ江
13	躰光寺川	垣見 857 番地	桂田基工門	明治 26 年	昭和 32 年	桂田光三郎
14	大同川支流	躰光寺 664 番地	中西竹次郎	大正 10 年	昭和 17 年	中西 実
15	大同川支流	躰光寺 756 番地	4 人組管理	大正 10 年	昭和 19 年	小島富士夫
16	大同川支流	小川 1290 番地	中田和平	明治 40 年	昭和 10 年	中田芳雄
17	新 川	川南 765 番地	東出組管理	大正初期	昭和 15 年	(設置場所) 荻野次男
18	新 川	川南 767 番地	開米組管理	大正初期	昭和 15 年	(設置場所) 木下富雄
19	新 川	川南	西出組管理	大正初期	昭和 15 年	(設置場所) 宇佐神社裏
20	新 川	阿弥陀堂(井ノ口)266 番地	字精米組合管理	大正初期	昭和 15 年	(設置場所) 木下一雄
21	大同川支流	新宮東 389 番地	字精米組合管理	大正初期	昭和 15 年	(設置場所) 樋口英男
22	大同川支流	新宮東 436 番地	字精米組合管理	大正初期	昭和 12 年	(設置場所) 若林康三
23	新 川	新宮西(里ノ内)	8 人組精米組合	大正初期	昭和 10 年	(設置場所) 下ノ堤防口
24	山田川	佐生 126 番地	松本基右工門	明治 30 年	昭和 24 年	松本恒男
25	山田川	佐野 871 番地	田附与七	明治 28 年	大正 13 年	田附与志雄
26	瓜生川	佐生 165 番地	田附太四郎	明治 5 年	昭和 15 年	田附邦雄
27	瓜生川	佐生 138 番地	田附徳兵衛	明治 18 年	昭和 36 年	(屋号水車徳大) 田附徳松
28	瓜生川	佐野 843 番地	浅井興三松	明治 25 年	昭和 30 年	浅井洋一郎
29	瓜生川	佐野 842 番地	松野茂平	明治 27 年	昭和 32 年	
30	瓜生川	佐野 208 番地	3 人組管理	明治 44 年	昭和 18 年	(三水車) 中井弥一郎
31	大門川	佐野 776 番地	須田金九郎	明治 36 年	昭和 19 年	(設置場所) 樋ノ瓜の畠
32	瓜生川	猪子 1 番地	田中宇右衛門	明治初期	昭和 18 年	田中泰男
33	瓜生川	能登川 97 番地	宮尾久治郎	明治 10 年	昭和 17 年	宮尾久司
34	瓜生川	林 131 番地	森傳次郎	明治 40 年	昭和 30 年	森 敏治
35	瓜生川	山路 300 番地	河崎辰治郎	明治 33 年	昭和 36 年	河崎整三
36	瓜生川	林 271 番地	森文治郎	明治 30 年	昭和 17 年	森 文一
37	瓜生川	山路 233 番地	杉田太助	天保元年	昭和 30 年	(屋号車屋太助) 杉田広司
38	瓜生川	山路 679 番地	字 4 組管理	明治 30 年	昭和 10 年	(設置場所) 河崎申二
39	瓜生川	山路 774 番地	字城西組管理	明治 30 年	昭和 10 年	(設置場所) 六反地田地 榎田喜一郎

能登川町史年表

西 曆	年 号	能登川のあゆみ
1. 古 代		
B.C1500	縄文後期	正楽寺遺跡(種地先) 西日本最大級の縄文集落(発見 1994.11)
B.C 200	弥生前期	大中の湖南遺跡(水稲農耕)
B.C 50	弥生中期	小川・宮ノ前遺跡
A.D 200	弥生後期	中沢・斗西遺跡
	古 墳	
500	飛 鳥	織山系に多くの古墳が作られる
		横穴式石室 山面古墳
600	白 鳳	巨石崇拜(岩神 岩船 盤座)
		法堂寺遺跡(佐野)塔礎石
700	奈 良	白鳳期の鴟尾や瓦出土
724	神亀1	聖武天皇より神崎連の姓を賜る
744	天正16	沙々貴山君 功により叙位を受ける
915	延喜15	抱瘡大流行
917	延喜17	旱天のため大凶作
927	延長5	延喜式の神名帳に乎加神社が式内社として記載されている
1156	保元1	崇徳上皇 源為義を召し、近江伊庭荘を賜う
2. 中 世		
A.D1181	養和1	源氏の軍勢、伊庭家忠・重頼討死
1221	承久3	承久の乱に近江守護佐々木広綱、信綱活躍する
1347	正平2	南朝軍として佐々木氏頼は伊庭氏と共に参戦
1350	観応1	近江守護代伊庭六郎左衛門尉 信楽征伐などに活躍 〔伊庭氏 全盛期 (伊庭和幸 大徳寺大壇那となる)〕
1421	応永28	宗祇法師(連歌師)伊庭庄で生誕(～1502)
1460	長祿4	佐々木六角政義が伊庭氏を討つ
1467	応仁1	応仁の乱 六角高頼、伊庭貞隆等は西軍(山名側)として活躍・六角氏は東軍(細川側)・西軍は分かれて政争の日々が続く
1502	文亀2	佐々木高頼 守護代伊庭貞隆を討つ 貞隆再起して高頼を追討、宗祇法師死去
1516	永正13	伊庭貞説、佐々木定頼と戦う
1520	永正17	伊庭氏、九里氏と共に観音寺城を攻めるも敗る
3. 近 世		
A.D1570	元龜1	伊庭より助右衛門外2人 織田信長の人質となる
1571	元龜2	新村城、小川城、信長に降る
1576	天正4	安土城築城 信長、伊庭山で鷹狩をする
1582	天正10	本能寺の変、信長死去
1600	慶長5	関が原合戦、井伊直政が佐和山城主となり能登川地方を領地とする
1615	元和1	井伊直孝、彦根城主となり、当地を支配する

西 曆	年 号	能登川のあゆみ
1634	寛永11	小堀遠州、伊庭御殿を作る
1642	寛永19	長勝寺と垣見・佐野の水争い
1672	寛文12	栗見十郷共有地開拓、各村2戸移住し、栗見新田開村
1685	貞享2	本多忠平郡山城主、金堂、神郷外11村を領有する
1688	元禄1	栗見新田検地(以後各地)が行われる
1698	元禄11	三枝守相 伊庭の領主となる
1724	享保5	柳沢吉里郡山領主となり、本多領を引継ぐ
1735	享保20	彦根領下に倭約令を出す
1770	明和7	ひでり続き凶作
1771	明和8	躰光寺と垣見の水争い
1773	安永2	6、7月大雨、愛知川堤決壊
1774	安永3	6月 大風で大凶作
1780	安永9	福堂大火
1783	天明3	未曾有の大凶作
1787	天明7	11月、湖水氾濫 飢饉 疫病流行
1791	寛政3	大風で被害甚大
1801	享和2	愛知川洪水
1805	文化2	伊能忠敬、当地を測量する 大地震起る
1806	文化3	栗見出在家開発される 福堂外5村から各7戸、計42戸が移住する(西村助之丞指揮)
1819	文政2	大地震
1821	文政4	ひでり
1824	文政8	大洪水
1833	天保4	大凶作で、彦根藩防穀令を出す(他領への売出し禁止)
1836	天保7	洪水、冷夏、凶作、商業不振
1841	天保12	種と今の水争い
1848	嘉永1	大洪水
1860	万延1	桜田門外の変 井伊直弼暗殺される 大洪水
4. 明治時代以後		
A.D1869	明治2	伊庭領主 三枝氏版籍奉還を願い出る
1870	明治3	暴風雨 大風水害
1871	明治4	廃藩置県(当地は彦根県から大津県となる)
1872	明治5	大津県と長浜県が合併し、滋賀県となる
1873	明治6	各村に学校開設、能登川・安楽寺・須田が伊庭村より分村
1879	明治12	新村・宮西村が併合して新宮村となる
1882	明治15	蒲生郡須田村を神崎郡に編入し、南須田村と称する
1889	明治22	東海道線能登川駅開設
1896	明治29	大雨洪水、湖水氾濫、善勝寺山崩れで埋没
1904	明治37	暴風雨強勢、被害甚大
1912	明治45	大暴風雨
1917	大正6	当地で陸軍特別大演習 天皇臨御
1934	昭和9	室戸台風
1942	昭和17	2月、5か村合併して町制施行
1943	昭和18	合併庁舎を現中央公民館の地に移築
1944	昭和19	東学区の本町区を南学区に編入替え

西 暦	年 号	能登川のおゆみ
1946	昭和21	小中の湖干拓完了、入植始まる
1947	昭和22	初の町議会議員選挙、町営能登川病院開院
1953	昭和28	台風13号、神郷、福堂、干拓堤防決壊
1958	昭和33	栗見橋竣工、大中の湖干拓工事起工
1959	昭和34	能登川病院新築工事竣工
1961	昭和36	第2室戸台風で被害甚大 町章決まる
1965	昭和40	学校給食センター完成、有線放送開始
1967	昭和42	大中の湖干拓完工 北部集落(大中)当町に編入
1969	昭和44	能登川町農協合併発足
1971	昭和46	町役場新庁舎竣工
1974	昭和49	町のシンボル(松・菊・きじ)決まる
1975	昭和50	中央公民館竣工、町民憲章制定
1978	昭和53	第一幼稚園、勤労者会館竣工
1979	昭和54	町民体育館、第二幼稚園竣工 福岡県篠栗町と姉妹都市提携、高校校体会場
1980	昭和55	町民武道館、老人福祉センター竣工 町歌制定 町民グラウンド竣工 町人口2万人突破 保健センター竣工

西 暦	年 号	能登川のおゆみ
1981	昭和56	カナダターバー町と姉妹都市提携 国民体育大会ボクシング競技開催
1983	昭和58	学校給食共同調理場竣工
1984	昭和59	北海道江差町と姉妹都市提携
1985	昭和60	県消防学校が神郷地先に竣工
1987	昭和62	文化小劇場 やわらぎホール 竣工
1989	平成 1	防災コミュニティセンター竣工 やわらぎの郷公園竣工
1990	平成 2	台風19号で今・栗見新田地先の愛知川堤防決壊、被害甚大
1991	平成 3	温水プール竣工 11月3日町制50周年記念式典 NHKのど自慢大会開催される
1992	平成 4	2月11日町制50周年記念シンポジウム 4月1日「能登川水車とカヌーランド」完成
1994	平成 6	シルバー人材センター発足
1995	平成 7	4月1日新能登川病院開院
1996	平成 8	県営ふるさと農道(きぬがさ山トンネル)着工 ふれあい運動公園完成
1997	平成 9	11月総合文化情報センター竣工開館

連歌師・宗祇去師資料

「宗祇の父と母と」より / 広島大学名誉教授・文学博士 金子金治郎氏

(一) 種玉宗祇菴主肖像贊(翰林胡蘆集卷十一)

宗祇が没して五年後に後継者の宗碩という人が、宗祇の弟子である三条西実隆を通じて、景徐周麟(相国寺の寺主・五山文学者)に肖像の贊を書いてもらったもの。永正六年(一五〇七)完成。宗祇の出自に関する資料としては最も古く、信用性がある。

(1) 夫神道八本朝二始マリ、変ジテ和歌トナレリ。万葉ノ前二倡リテ、古今ノ後二行ハレタリ。

(2) シテ佛法ハ我が国ニ入リテ、分レテ釈氏ト作レリ。菟浦ノ中ニ在リテ、天地ノ間ニ満チタリ。

(3) 共ク惟ルニ、宗祇老布衲、身ハ江東ノ地ニ産マレ、名ハ天子ノ寰ニ喧シ。

(二) 蒲生智閑宛、宗祇書

蒲生郡日野城主蒲生智閑宛の宗祇書簡明応元年(一四九二)二通があり、その一通に、宗祇の出自を解く鍵がある。即ち近江守護、佐々木六角氏の館へ親の時に連れられて伺候したと記している事は、親が六角の重臣であったことを示し、それが守護代伊庭氏であると推定された。

【原文】

先度八木拝領之時

御返事申候 仍已前申候

伊勢之人神戸方之事候

連々罷下候へと被申候 親

之時ちかつき候し間左様之

儀候哉 度々音信候間 強

可下存候 但宗益 先彼

地へ罷越候て左右可申由

其様へ定而可申候 我等事も

承候て可罷越存候 然者

其方までの路次大儀候 三

富殿二可申入存候 万事

被仰合て可懸候事候 一向

御扶持を可憑存候 其為

如此申入候 近日仕候発句

染て待心や木々の初時雨

又兼載はあは地まてのほり候由承候

兵庫までと申候 宗長は来月

初京着可仕候 恐々謹言

九月(晦)日 宗祇(花押)

蒲生殿 御宿所

【大意】

先般 お米を頂戴した時

御返事申しましたが、以前申しました

伊勢の人で神戸に居る人の事です

度々私に伊勢へ下るよう申されます。親

の時代に、私もお会いしましたので、お

呼びになるのです。度々お便りがあるの

で、私も必ず

参るつもりです。但し宗益が、ます

神戸へ参り、どうするか決める由です

(結果は) そちらへも必ず申しましよう。

私の方も

それを聞いた上で神戸へ参るつもりです

となれば、

そちらまでの道中が大変です。三

富殿にお願いするつもりです。万事

は御相談頂いた後、取りかかる事にしま

す。ひとえに

御助力をお頼みます。そのため

かように申し入れます。近日詠んだ発句

染て待心や木々の初時雨

又兼載は(阿波から)淡路まで参つた由

です。

兵庫までと申しています。宗長は来月

初め京着のはずでございます。恐々謹言

九月(晦)日 宗祇(花押)

蒲生殿 御宿所

方言

滋賀県神崎郡能登川町乙女浜・今堀 宗三郎

ふるさとの方言について

私達のふるさとは、古来より語り継がれた数多くの方言があります。

明治、大正、昭和の初期位までに生れた人達は、今でも日常会話の中でよくこの方言を使っている事があります。又、その方が最も自然体で親しみ易く、意味もよく判るのです。

ところが、現在の若い年代層、特に小中学生以下の子供達、更に今後生まれてくる人達にとって、その土地の方言を話せる人は、おそらく皆無になる事が予想されます。

この事は、非常に残念に思いますので、余暇を利用して、思い出した方言の一語一語を書き残し、この方言集を作成したものです。この事は言葉の遺跡発掘であり、もう一度この方言の良さを見直し、後世に伝えたいものです。

平成九年 春

能登川町乙女浜 385 今堀 宗三郎

【あ】

ああえら	大変疲れた
あいさ	明日
あいそがつきる	話にならない
あいそもない	愛想なし
あいまち	けが
あかいまき	赤い腰巻
あかせん	だめだよ
あかほど	ほんのすこし
あかんこっちゃ	駄目な事だ
あかんやいつ	駄目な人
あこかい	だめだ
あさってむいてらる	人の言う事をきかず横をむいている

汗みどろ	汗びっしょり
あっちゃべた	あちら側
あてこすり	皮肉
あのいそん	あの人(目上)
あのしいらあ	あの人達
あのじん	あの人(目下)
あのんら	あの人達
あびる	泳ぐ
あへる	あひる
あほういうてさんすな	馬鹿な事言っではいけない
あぼたん	馬鹿者
あらかた	だいたい
あらかない	あらっぱい
あらしたい	希望する言葉
ありがたいな	よい天気ですね
あれふんばい	驚いた様子
あるか	ないだらう
あわさい	間
あをなげ	上向き
あんない	まつい
あんばよう	具合よく

【い】

いかあげ	凧上げ
いかい	大きい
いかいおお	大きな面積

いかな事暑い	大変な暑さだ
いかならん	行かねばならない
いげ	湯気
いけど	井戸
いごけん	動けない
いざひき	漁法
いしかけ	石垣
いしな	石
いしびしょ	魚の一種
いじこ	穀物の容器(わら細工)
いちよびる	調子にのりふざける
いっかどしょう	ずい分高価なものでしょ
いっせつ	常に
いってんぱり	何度も同じ事を言う
いなはった	帰られました
いにさらせ	帰ってしまえ
いぬ	帰る
いやはや	思い掛けない
いらんこっちゃ	無駄なことだ
いらんこというて	つまらぬ事言っごめん
ごめんやほん	さい
いんざや	いいえ
いんごるもち	もぐら
いんだり	米の検査に不合格になった
いんでこまそ	帰ってやろう
いんでござい	帰りなさい

【う】

うけんこ	めだか
うすすり	もみすり
うそのかわ	ウソ
うたてい	うるさい
うちね	自分の家
うちやけてくる	大降りがする
うつける	あなどる
うつぶく(うつぶせ)	下を向く
うまかけ	競馬
うます	物を煮て火を止めそのまま
	しておく
うら	自分のこと
うらべら	裏側

【え】

ええ	家
ええあげる	へどあげる(嘔吐)
えりこうな	食欲な
えろうおきばりやす	よく働きますね 何をおっ
ようあんた	しゃいますかあなた

【お】

おいでやす	いらっしやい
おおかた	大体
おおさわな	大げさな
おおつもごり	大晦日
おがみとおる	かまきり
おきなはい	やめなさい
おくどさん	物を煮る場所
おいしい	汁
おしまいやす	今晚は
おぞい	恐ろしい
おぞいごれ	恐ろしい人
おたいてやおせん	人の苦勞をねぎらう事
おとつい	一昨日
おとましい	申し訳ない
おぼたい	重い
おまはん	あなた
おわいかけぞうれ	葬式におくれる
おんた	雄

【か】

かあら	魚の一種
かいくれ	結局
がいさく	思いがけない沢山費した
かいせみよ	渡しなさい
かいつう	かいつぶり
がいるこ	おたまじゃくし
かけず	掛軸
かざ	匂い
かざがく	におう
かしん	おとなしいかこい子供
かたいだある	傾いている
かたちんば	左右ちがう
かだな人	かだな人
かなん	要領のよいずい人
かなんこっちゃ	嫌です
カフェー	困った事だ
からすがい	キャバレー

がらんど

かりずて

かるこ

がんぞ

【き】

きおた	予想以上によかった
きつついきらい	大嫌い
ぎつとうなじん	言い出したらきかぬ困った人
きびしょ	茶器、きうす
きびす	かがと
きめつき	鋤で土に割れめをつける(農作業)
きやはれんな	こられませぬ
きやらほこたん	強く乾燥した状態
ぎゃんのうほい	ジャンケンポン
ぎよっぱ	ゲップ
きりばん	まな板
ぎんだあ	腹の悪い二枚舌

【く】

くいもん	えさ
くくむ	口の中に水等を入れる
くずるべい	のろま
くすんかんとも	全然返事をしない
いわれん	音のないおなら
くすんべえ	くだいね
くだいね	下さい
くてみさい	食べてみなさい
くべる	薪等をもやす
くらい	(例)するくらい・平気でできる
くらわす	強くなぐりつける
くりちんもうてらる	非常に苦しんでいる様子
くりほね	蛙眸

【け】

げ	(例)ちがうげ
げ	景色(例)雨げ、東げ
げえこう	お寺参りより帰る
げえとる	巻脚絆
けかでか	かえって
けがさいたある	もよおしてきた
げっちゃ	一番じり
けつのあんかん	肛門
けつべた	お尻
けつまづく	つまづく

けとん
げな
けなりい
けぶたい
けぶりだし
けんどか

毛糸の肩掛
そうな
羨ましい
けむい
煙突
けれども

【こ】

こうと
ごうわかす
こえだし
こおらい
こぎわ
こけさい
ござった
ござらせん
ござんすな
こじわり
ごすのどてんじょ
こぜわしい
こつきわるい
こっちいござい
ごっつおさん
ごつとい
こつとり
こないだ
こなかじ
このん
こびりついたある
こぶらがえり
米かし
ごめんやす
ごもくわら
こらいてやほん
こわがよい
こんとけ
ごんぼ

地味
腹立てる
下肥のくみ取り
とうもろこし
境い目
横になって寝なさい
来られた
いません
来てはいけない
水田の排水溝
始末におえない
あわただしい
愛想が悪い
こちらへ来なさい
ご馳走さん
何時も
全部
この間
農作業
この人
強くついている
ねんざ
米をとぐ
今日は
ゴミだらけ
ごめんなさいね
節回しが上手
来てはいけない
ごぼう

【さ】

さい
ざいしょうち
さおた
さかとんぼり
さからう
さぐりん
さずんだ
サデ
さなぶるい
さびらき
さぶい
さんぢらかし

おかず
字中
失望する
まっさかさま
冗談言ってじゃれる
手で魚を捕る
火の勢いが弱まった
漁具
苗代の最後の苗をとる
苗代の苗を初めてとる
寒い
部屋いっぱいに散らかして
いる

さんすな
さんによう
さんまい

してはいけない
勘定
墓地

【し】

じきに
したみ上げ
しとしけない
しなぼったある
しばく
しびと
しびる
じべた じきべた
しまいてきた
しまえる
しもって
ジャケット
しゃっぼんぎく
しゃばふさぎ
じゅるみそ
じゅんさいな
じゅんじゅん
しょう
しょうことなし
しょうしくさい
じょうずう

すぐに
田の排水溝
恥かしい
しおれている状態
たたく
遺体
もらす
地面
しぐれてきた
終る
しながら
毛糸のセーター
百日草
邪魔者
ぬかるみ
よいかげんな・だらしない
すきやき
そっくり
仕方なく
歯がゆい
いつも

じょうずな事
じょうずもん
じょうせん
じょうできやな
しょうまいか
じょうら
しょうらかしい
しょからい
しょだいない
しょて
しょんべん
しょんぼけ
しらじゃけたある
じらたい
しりふきがみ
しりべた
しるのみ
しるふみ
しわらくさい
しんどうらい

変な話
お世辞のうまい人
飴の一種
大変良くできているね
しましようか
あぐら
普通の仕事が出来ぬ
塩辛い
だらしない
初め
小便
小便所
色が変わって白くなる
下品でいやらしい
トイレットペーパー
おしり
おつゆの具
しろかき
変な嫌なにおい
集中豪雨

【す】

ずいが
すいこうな
すいな柄
すいばら
すうたる
すすき

さすが
生意気な
いきな柄
とげ
吸ってあげる
ずぼを野積したもの(次頁参照)

すすはき
すてんしょ
すなこの下
ずぼ

すす払い
駅
床下
生わらを乾燥するため、数把をくくり田に立てたもの
しおれている
ひどくしおれている状態
すみませんね
すみっこ
相撲取り
頭を半分割っている事
方向

すぼったある
すぼりきんちゃく
すまんなあえ
すみくた
すもんとり
すりかけぼんかけぼん
ずんど

【せ】

せちべん
せつろしい
せんぐり
せんち
せんちむし
せんど
せんど言うたった
せんとこ

つめ
とても忙しい
順番
大便所
便所にわく虫
つかれ
思いきり言った
やめておこう

【そ】

そうれ
そっぼこだに
そな
ぞんぞ

葬式
便利の悪いところ
そな
寒気

【た】

たいがいせいよ
たいてやない
たいも
だご
たごけ
だしおけ
だしかい
たねがら
たのかぶ
たのし
たばえる
だば貝
たべさい
たまがき
だれやったい
たながれ
だんない

いいかげんにしなさい
相手をねぎらう意味
里芋
だんご
肥桶
肥桶の大きなもの(運搬用)
かまわない
菜種木
稲を刈り取った株
たにし
物をたくわえる
貝の一種
食べなさい
漁法
誰でしたか
ツララ
かまわない

【ち】

ちごほご
ちちんこにぎり
ちびたい
ちゃがい
ちゃづけぢゃわん
ちゃっちゃこぶり
ちゅんちゅん
ちょうず
ちょうめん
ちょうり
ちよかあ
ちよこちよこさいさい
ちよぼつと

ちくはぐ
強く握って離さない
冷たい
茶粥
飯茶碗
どしゃぶり
のぼせ上がる
うんこ
ノート
傷あと
ちょうしりのり
合い近く
ほんの少し

【つ】

づいが
づう
づうがうつ
つづこなむ
つばくら
つづがわ

さすが
頭
頭痛がする
しゃがむ
つばめ
田舟にたまった水を汲み出す道具

つらついたの
つれてつたる
つんのし

きちんと揃ったの
連れて行ってあげよ
直立不動の姿勢

【て】

てえ
てけんぼ
てしお
てっこるぼん
てとつてくれ
てっぺん
てのくぼ
てまえら
てまん
電気の球
てんこち
てんこもり
電信棒
でんち
てんじょうつく

客間
出来の悪い子ども
小皿
てくのぼう
手伝ってくれ
頂上
手のひらを皿代わりにする
お前達
まり
電球
いたち
山盛り
電柱
衣類
手をつく

【と】

どうなるい
とことん
どしんけん
どだいかいもう
どちまん
どつから
どづく
とっしょり
とつとかい
とばしり
とひよもない
どへん
とぼし

絶対いやだ
徹底的
一生懸命
思い掛けない
魚の一種
どつから
強い力でたたく
老人
思い掛けない
はね
途方もない
へんくつ
夜、ガス灯をもって魚を捕る漁法
糠味噌づけ
雨どい
収穫量
どじょう

とぼづけ
とゆ
とりめ
どんじょ

【な】

なあえ
なあし
なえてかなん
なこじ
なぶりこね
なまづけない
なりのよい
なんやってるいな

ですね
ですね
力を落とす様子
隣近所
形の良く整ったもの
形してますか
ずぼら
なぐさむ様子

【に】

にぎりべい

手のひらで尻をつかむ

【ぬ】

ぬくいほ わらの穂先

【ね】

ねえや ねえお前
 ねごんぞ 根こそぎ
 ねぐさい 腐った匂い
 ねずみらず 戸箱
 ねちこい ねばっこい
 ねついじん ひつこい人・執念深い人
 ねっから 一向に
 ねてさい 寝ていなさい
 ねぶか ねぎ
 ねぶたい 眠い
 ねぶる なめる
 ねりにかむ 思いつる

【の】

のいせみさい 伸ばしなさい
 のいぼり 田の荒起こし
 のうた 前へつんのめる
 のえ 緩い勾配
 のくとい 暖かい
 のこりおい 心残りだ
 のぞ のど
 のつけ 初め
 のりすり 一生懸命・命がけ

【は】

はぎし 歯茎
 はくしゃみ くしゃみ
 はぐるま 乳母車
 はざける 一か所に寄せる
 はすっかい ななめ
 はちかる 足を大きく開く
 ぼっち ももひき
 はてる 終わる なくなる
 はなご はな緒
 はばき 女性の脚半
 ばば 大便
 はやて にわか雨
 はりあいな かいがあること
 はん はず

【ひ】

ひあらせ 南風
 ひざぼん ひざ
 ひだす 箕を使って風で選別する
 ひだるい 空腹
 ひつらこい ひつこい
 ひでり 晴天
 ひとくべだき ぬるま湯をわらを燃やし暖める

【ひ】

ひばこ コタツ
 ひまじん 暇な人
 ひやけ 忌明
 ひょうしのひよこたん 偶然
 ひよんなげな 不思議な
 ひんなか 半日
 ひんのま 昼寝

【ふ】

ふか靴 長靴
 ふくばば ひきかえる
 ふすべる ちよるちよる燃やす
 ふすぼったある 火が消えて、煙りだけ出ている
 ふちゃかす ひっくり返す
 ふらしともない 降らないでほしい

【へ】

へえぶ へび
 へえる ひる
 へくそなくそ ぼろくそ
 へすび 鍋や釜の底にできる灰
 へぞこ 形が整っていないこと
 へちりん 回り
 へなまぬるい なまぬるい

べべ
 へべつ
 へんねし

【ほ】

ほいさろ おんぶしてあげよう
 ほいたら そしたら
 ほうけ そうですか
 ほうさいね そうしなさいね
 ほうやぞな そうなんですよ
 ほうゆうもん そうゆうもの
 ほかす 捨てる
 ほころへん そのあたり
 ほしばんてん 赤ちゃんをおんぶする綿入り羽織

干しもん小屋

ほたつき 干し物の小屋
 ほっさん 田の畦作り
 ほてから お星様
 ほやわいな それから
 ほれみさい そうなのよ
 ほんこさん それみなさい
 ほんなこというたかて 報恩講
 ほんまやぞな そんな事言っても
 ほんじゃまあ 本当ですよ
 ほんでねえや それでは失礼します
 それでねえ

【ま】

まいげ 眉毛
 まかぼ まこも
 まぐれ タ方
 またいじん ちょっと物足りない人
 まだるい 目がだるい
 まで ですよ
 まどろかしい くすぐずして邪魔になる
 間なし 間もなく
 まねほど ほんの少し
 まばゆい まぶしい
 まぶし まむし
 まま ご飯
 まめくじり なめくじ

【み】

みえが悪い 形が悪く醜い
 みっこっさん みこし
 みてみさい 見てみなさい
 みともない 醜い
 みんごと やっと

【む】

むさい むさくるしい
 むちゃゆわんすな 無理を言っではいけない
 むさんこうな 無茶苦茶な

【め】

めめず みみず
 めんた めす
 めんど 堰

【も】

もうもう 膝をついて四つんばいになる姿勢
 もずか 泥濘
 もちもはざけもならん どうにも仕方がない
 もんてござった 帰って来られた
 もんらい 帰りなさい
 もんりしない 帰る途中

【や】

やあとこせ 伊勢音頭
 やかな ひ弱な
 やぐさい 物が焼ける匂い
 やせぎす 痩せた細い体
 やつたる してあげよう
 やってるまで やってるよ
 やらん 赤ん坊
 やらしい いやらしい
 やんちゃめる おてんば女の子

【ゆ】

ゆいだしべえ 発起人
 ゆうてくだんすな 言わないで下さい
 ゆっくり人 何をしても早くできない人
 ゆりご クズ米
 ゆんべ 昨夜

【よ】

よいまどろいの朝雀 早寝早起き
 ようなやほん ありがとう
 ようゆうてな 知らせて頂いてありがとう
 ようようの いるいるな
 ようまいさん どういたしまして
 ようゆわんわいな 言えませぬ
 よけのまい 員数外
 よごみ よもぎ
 よさり 夜
 よそいき 外出
 よそねえ よその家
 よだち タ立
 よったり 四人
 よばれてさんじまいさ およばれに参上しました
 よみにこむ 一心不乱
 よめり 嫁入り

【ら】

らあしい 粋な感じ
 らちのよい 丁度都合よく
 らる いる

【わ】

わいな ですよ
 わごんら お前たち
 わし 私
 わたこ 魚の名称
 わや むちゃくちゃ
 われ あなた
 わんらあ お前達

報恩講の布令 真宗

さんねの 一本目 ふれたれまっとくれ

天台宗

さんねの 念仏講 ふれたれまっとくれ

明治の中期頃までは

おぼんさんが参れた まっとおくれ
 芋や大根や まだある猿豆の粉吹き

* * *

以上、約500語を書き上げましたが、人にはそれぞれ物の見方や考え方、つまり価値観に相違があります。強い関心や興味をもたれる人もあれば、反対につまらぬ事だと一笑に付してしまわれる人もあると思いますが、そこは個人の見解の相違なのでそれはそれで結構です。

ところで、方言には方言特有のアクセント(節回し)があります。それを文字に表現できないのが残念ですが、どうにもいたしかたのない事です。

実は、小生、今年は傘寿(数え年80才)という人生の中でひとつの節目を迎えることができなかったので、その喜びと老人ボケの予防のため、暇つぶしに作成したものです。

輝かしいふるさとの歴史や文化を物語る時、何かの参考にさせていただけたら無上の光栄に存じます。

ご愛読ありがとうございました。

道路の状況

資料)町企画広報課、土木建設課 / 平9.4.1現在

(単位: m)

県・町道別	総延長	舗装延長	舗装率
県道 総数	42,683.1	42,673.1	99.9
主要地方道	20,657.5	20,657.5	100.0
一般県道	22,025.6	22,015.6	99.9
町道	116,172.04	113,711.41	97.9
合計	158,855.14	156,384.51	98.4
町道 1 級路線	13,546.85	8 路線	
町道 2 級路線	16,103.68	12 路線	
町道その他路線	86,521.51	40 路線	
合計	116,172.04		

町道路線名一覧

1 級

佐野・種線 / 佐野・猪子・能登川線 / 能登川高校線 / 中学校線 / 小川・林・能登川線 / 山路・小川・川南線 / 乙女浜・新宮線 / 須田線

その他

長勝寺線 / 神郷線 / 佐生線 / 佐野線 / 種線 / 今線 / 垣見線 / 本町線 / 猪子線 / 猪子佐野線 / 林線 / 能登川線 / 安楽寺線 / 須田線 / 伊庭線 / 山路線 / 跡光寺線 / 小川線 / 小川跡光寺線 / 小川線 / 小川国領線 / 川南線 / 阿弥陀堂線 / 新宮東線 / 新宮西線 / 乙女浜線 / 福堂線 / 栗見新田線 / 栗見新田栗見橋線 / 栗見出在家線 / きぬがさ線 / 大中線 / 栄町線 / 桜ヶ丘線 / 神郷23号線 / 小川13号線 / 泉台線 / 高岸台線

2 級

佐生・神郷・種線 / 種線 / 今・種線 / 能登川・須田線 / 須田・きぬがさ線 / 西小・城東線 / 伊庭・中洲線 / 井ノ口・新宮線 / 新宮線 / 新宮西線 / 乙女浜・干拓線 / 福堂・干拓線

県道名一覧

主要地方道大津・能登川・長浜線
 主要地方道彦根・近江八幡線
 主要地方道栗見・八日市線
 県道佐生・五個荘線
 県道佐生・今線
 県道福堂・今線
 県道柳川・能登川線
 県道伊庭・円山線
 県道栗見新田・安土線
 近江八幡・安土・能登川自転車道線(よし笛ロード)

都市計画道路名一覧

都市計画道路近江八幡能登川線
 都市計画道路能登川北部線
 都市計画道路 J R 東口線
 都市計画道路横川高校線
 都市計画道路役場前通り線
 都市計画道路 J R 西口線

信号機設置状況

資料)八日市警察署 / 平成 9 年 7 月 10 日調査

交差点名	所在地	設置日	夜間閃光時間	備考
7 垣見	垣見684の1地先	昭43.7.10	0~6	昭60.3.28制御機交換
10 林	山路300地先	昭46.7.5	0~6	昭61.4.4制御機灯器配管交換 平9.4系統化、多現示化
12 能登川中学校前	山路2の1地先	昭47.8.25	0~6	平8.4.19歩行者用灯器3基増灯
18 今	今479地先	昭49.3.15	0~6	
20 能登川	能登川497地先	昭49.9.6	0~6	
27 能登川消防署前	佐野730地先	昭50.12.15		押ボタン(閃光式)
29 栗見新田	栗見新田352の2地先	昭50.12.15		昭58.8.31定周期改良制御機取替 平8.11.29撤去
34 猪子	猪子426の1地先	昭52.11.21	0~6	
43 町民体育館前	山路603地先	昭55.11.20	0~6	
49 能登川北	能登川地先	昭57.4.5		押ボタン(閃光式)
54 佐野	佐野667地先	昭58.1.31	0~6	
61 大中	大中247地先	昭60.12.27	0~6	
63 種	種776地先	昭61.11.14		平9.2閑散時半感応化改良
64 天神社西	垣見748の1地先	昭61.12.4		一灯式
69 垣見北	垣見536の5地先	昭63.12.23		押ボタン式(閃光式)予告信号有
75 水車橋	栗見新田1617の3地先	平3.4.12	0~6	
76 栗見新田北	栗見新田920地先	平3.7.5		平6.1.21閑散時半感応化改良
78 山路	山路2425地先	平3.9.10	0~6	
80 小川	新宮159の1地先	平4.1.13	0~6	
94 能登川東小前	小川158の4地先	平7.11.17		押ボタン(閃光式)
96 八幡橋南詰	今1490の17地先	平8.2.22		閑散時半感応
98 栗見出在家	栗見新田319の1地先	平8.11.29	0~6	
99 佐野北	佐野442の3地先	平9.2.28	0~6	

能登川町管内一級河川一覧

河川名	延長	上流端	下流端
大同川	18.63km	左岸 五個荘町大字伊野部字井ノ下 148 番地先 右岸 八日市市建部下野町字中王道 428 番地先	琵琶湖への流入点
瓜生川	8.25km	左岸 五個荘町大字石馬寺字川端 526 番地先 右岸 五個荘町大字石馬寺字池ノ上 300 番地先	大同川への合流点
五位田川	2.42km	左岸 能登川町大字今字三ノ坪 259 番の 1 地先 右岸 能登川町大字今字二ノ坪 257 番の 1 地先	大同川への合流点
山路川	3.10km	左岸 能登川町大字佐野字山面 989 番地先 右岸 能登川町大字佐野字柳 767 番地先	瓜生川への合流点
跡光寺川	4.03km	左岸 能登川町大字長勝寺字馬場 380 番地先 右岸 能登川町大字長勝寺字馬場 381 番の 2 地先	大同川への合流点
須田川	3.41km	左岸 能登川町大字北須田字川上 733 番地先 右岸 能登川町大字北須田字川上 734 番地先	瓜生川への合流点
愛知川	41.05km	永源寺町大字黄和田字大川 33 番の 1 地先の取水施設	琵琶湖への流入点

能登川町総合文化情報センターの概要

施設用途：図書館・博物館・埋蔵文化財センター

敷地面積：23,156㎡(用地買収面積)

延床面積：図書館・博物館部 4,051.1㎡
 屋外駐輪場 72.0㎡
 屋外便所 31.4㎡
 埋蔵文化財センター 1,764.2㎡

構造：鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造

外部仕上：屋根 銅板瓦葺き及びいぶし銀瓦葺き
 外壁 セツ器質タイル

資金：図書館・博物館

地域総合整備事業債 まちづくり特別対策事業分(総合事業)

個性あるまちづくり市町村事業費補助金(県費)

：埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センター建設費国庫補助金

埋蔵文化財センター建設費県費補助金

図書館

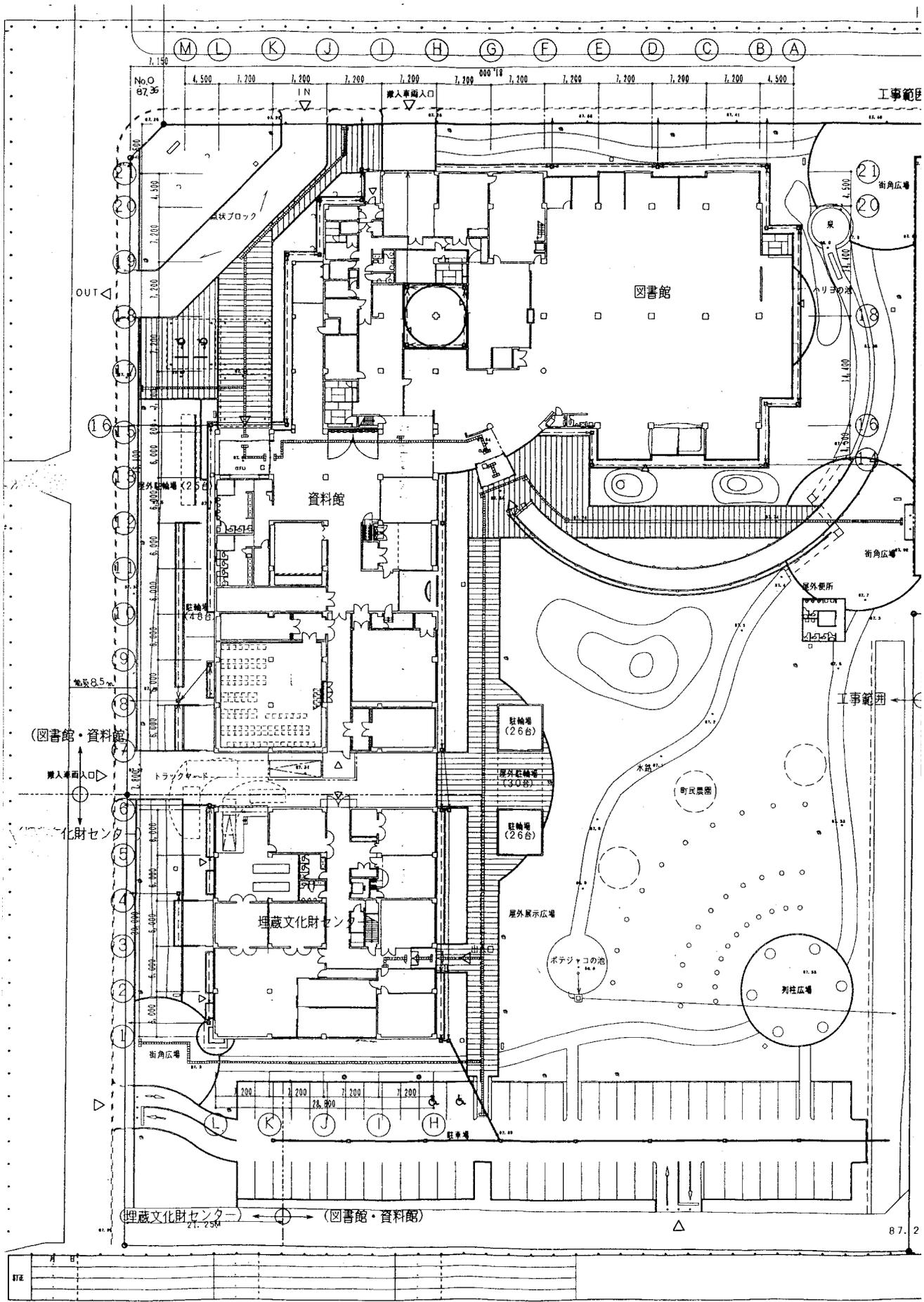
部門構成	主要構成スペース	実施面積	備考	
利用部門				
玄関ホール	風除室	126.1	ブックポストを設置 電話コーナー (博物館と共用)	
中央サービス	休憩・喫煙・喫茶コーナー	70.3	厨房セットを含む	
	総合カウンター	68.9		
開架	レファレンス・デスク			
	目録・検索スペース			
	ブラウジング	新聞・雑誌・軽読書	96.3	
	成人開架	一般図書	631.4	
	参考図書	参考図書	191.6	
	地域資料	地域資料		
青少年開架	青少年用資料	30.6		
児童開架	児童サービスデスク	277.2		
	児童開架			
	お話し室			
視聴覚サービス	視聴覚コーナー	32.5	4ブース	
	視聴覚資料			
障害者サービス	朗読室・録音室	14.1		
集会・展示	集会ホール	136.8	机使用時50人、椅子 のみの場合100人収容	
	小会議室	22.9	調整室・備品倉庫を含む	
	展示スペース(ギャラリー)	306.4	スライディングボード	
	(小計)	(2,005.1)	(博物館と共用)	
保存部門(書庫)				
		(205.3)	2階 集密書架	
事務部門				
館外活動	館外奉仕作業	59.2	BM書庫61.9㎡を除く	
事務・管理・業務	応接	119.6	製本準備を含む	
	貸出業務			
	整理作業			
	選書作業			
	一般管理事務			
	コンピュータ			
職員用諸室	メール荷解・配送			
	ボランティア活動室			
	職員休憩	43.2	厨房セットを含む	
	更衣室・ロッカー	14.6	博物館と共用	
	派遣員等詰所	18.8	掃除等備品庫を含む	
(小計)	(255.4)			
合計		2,465.8		

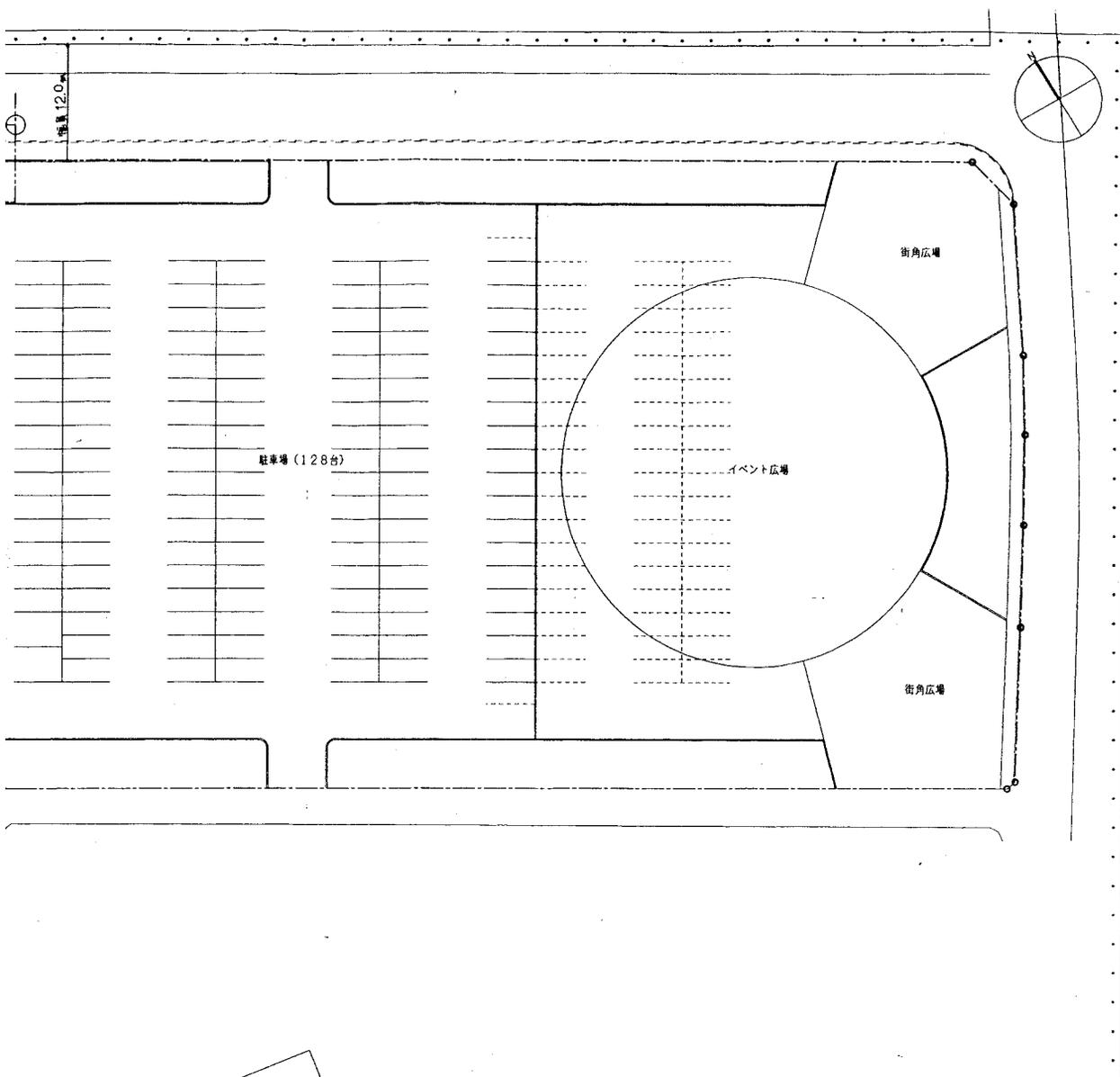
博物館

部門構成	主要構成スペース	実施面積	備考
発見・発信・交流部門			
玄関ホール	風除室 玄関ホール		図書館と共用
発信・展示スペース	展示室	66.0	ギャラリー-306.4
	展示準備室	49.8	
参加・交流スペース	体験学習室	95.6	パーティションにより2室に分割可
	体験学習準備室	8.4	
	講座室		
(小計)	(219.8)		
調査・研究部門			
	学芸員研究室		事務室に含む
	共同研究室	28.0	
	書庫・記録保管室	26.8	
	写場・暗室		埋蔵文化財整理部分に含む
(小計)	(54.8)		
収蔵庫部門			
	一般収蔵庫・収蔵庫	269.9	第1一般収蔵庫 217.9㎡
	特別収蔵庫	39.2	第2収蔵庫 52.0㎡
	燻蒸室		
(小計)	(309.1)		
事務部門			
事務室	館長・応接 一般管理事務 コンピュータ	95.8	
職員用諸室	ボランティア活動室		図書館職員と共用
	職員休憩 更衣室・ロッカー 派遣員詰所		
搬入・搬出・荷解室			
(小計)	(95.8)		
合計		679.5	
図書館・博物館共用部			
その他のスペース	機械・電気 廊下・階段・便所等	270.5 635.3	
合計		905.8	
図書館・博物館共用部	合計	4,051.1	
屋外駐輪場		72.0	
屋外便所		31.4	
合計		103.4	
総計		4,154.5	

埋蔵文化財センター

部門構成	主要構成スペース	実施面積	備考	
収蔵庫	収蔵庫 1	115.4	木器類、水槽設置	
	収蔵庫 2	725.2	土器・石器類	
	特別収蔵庫	93.6		
	仮収蔵庫	43.6	仮置用スペース	
(小計)	(977.8)			
整理スペース	整理室	231.5	パーティションにより3室に分割可	
	記録保管室	45.7		
	写場	45.7		
(小計)	(322.9)			
普及スペース	展示コーナー	9.1	パーティションにより2室に分割可	
	学習室	91.9		
	情報・図書室	47.9		
(小計)	(148.9)			
その他のスペース	管理室	25.1		
	会議室	45.4		
	廊下・便所・湯沸室	244.1		
	機械・電気			
	(小計)	(314.6)		
	合計		1,764.2	





総合文化情報センター配置図

設計者 株式会社 建築設計事務所	作成日 96.1.8	設計者 株式会社 建築設計事務所	図面番号 総 画 集	古 川 市 能 登 川 町 総合文化情報センター建設工事 (図書館・資料館)	設計者	図 番 号
	発行				担当	配 置 図